

荒町人のひとりごと

前号で大人気だった、荒町人の「ちよと」
笑えてためになる「大いなるひとりごと」

1 カオソイ食堂
(株)堀越 利之さん
(株)金子 和加さん

荒町ってタイの下町を思い出す。
奥深い路地がたくさん!

2 毘沙門堂 満福寺
我妻 龍聲さん

お寺に気軽に来てほしいな。
地域イベントを応援するよ!

3 伊達ながらあげ専門店
天地を喰らふ
佐々木 輝幸さん

チキン南蛮のタルタルソースは
毎日手作り!

4 ビツェリア ブエノス
菊地 茂雄さん

DIY大好き。
内装も壁のイラストもDIY!

5 社の熊さん将棋教室
熊坂 学さん(5段)

6歳から70代の方まで、
一緒に将棋を楽しんでいます。

6 仙台市 荒町児童館

粋で楽しい商店街の大人を見て育つ、荒町の子ども達は幸せですね!

7 やきとり よしと&つかさ
遠藤 司さん

一人でも来れる焼き鳥屋。
ここに来たらみんな仲良くなるよ。

8 仙台荒町郵便局
佐藤 慎さん

地域の方が気軽に
声をかけてくれるのが
いいですね!!

9 横浜系ラーメン
一翔(いっしょ)
小寺 裕太さん

店のみんな、荒町が大好き!
いつでもふらりと店に寄ってください!

10 嘉藤金物店
嘉藤 正一さん

「この店に来てよかった!」と
喜ばれる品ぞろえが自慢。
のぞいてみてね。

11 げんちゃんラーメン
(株)あらい
藤原 金さん

荒町でお店を始めて7年。10年たったら
ここでもう1店出したいね!

12 美容室 tokito hair
(株)akiraさん
(株)ayaさん

無限なお洒落を
楽しめるショートカット推し!
是非お試しあれ。

荒町の「なにそれ?」を徹底 説明「#荒町ワンダーランド」

スポット 1 元気広場
「ARAMACHI」看板が目立つ不思議な場所。
なんと、藩政時代の屋敷の区割りがそのまま残ったレアスポット!



夏は七夕、冬はイルミネーション!!

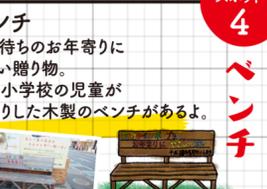
スポット 2 自動ドア
自動ドア @伊藤屋
とってもエコ!? な「自動」ドア。
電気不要、人力必要。



スポット 3 昌伝庵
伊達政宗と一緒に荒町にやってきた歴史のあるお寺だよ。お庭に大人の背丈ほどある巨大模型が! 仙台城にあった町を見下ろす懸造(かけづくり)、復元が待たれる大手門を楽しもう!



スポット 4 ベンチ
バス待ちのお年寄りに優しい贈り物。
荒町小学校の児童が手作りの木製のベンチがあるよ。



スポット 5 七夕まつり
荒町人が力を合わせる七夕まつり! 町のそこかしこで準備してます。



たのびたまつり

スポット 6 あらまち見守り隊
子どもは地域で守る! と有志のお店で結成。逆に元気ももらっています。



見守りネコちゃんズ @日東写真スタジオ
13匹が荒町キッズをにゃんこの目で見守ってます!!

あらまち 温故知新 その1

紙芝居で歴史を楽しく

荒町の歴史を紙芝居に
子どもがまちを誇りに思えるように

2020年9月、荒町の歴史を紙芝居にした「講談町荒町物語① 細路左衛門と回文うちわが荒町小学校で発表されました。」

きっかけは前に、美登堂シアタープールの庄手康さんが中心となり、幕末期に荒町の特産品だった「回文団扇(かいらんうちわ)」を復活させたこと。回扇は当時、荒町の夏の特産品でしたがある時、回文作りが得意な細路左衛門が、売り物の回扇に回文を書き、これが評判になったそうです。

この歴史を子どもたちに伝えるため、授業で読んで手作り紙芝居が完成。これはすずく残せるし、つかりたいと、児童館と商店街が団結し、紙芝居づくりがはじまりました。

はじめは「世界一の紙芝居しよう」と大人たちの情熱が強く、様々なアイデアが出すぎて迷走したこともあったそう。失敗談にも、町ぐるみ子どもを育てる荒町の風風がうかがえます。

また「講談町」のような、難しい言葉を使うべきかどうかに悩みに悩んで、子どもでもわかるような状況でしたが、妥協せず、試行錯誤しながら紙芝居が完成しました。

細路左衛門の墓前に披露されたこと、回扇の子どもたちからは「荒町を誇りに思う」「歴史を知って自分の街を好きになろう」と等の感想があったそうです。

「披露の時は思いが伝わっていくのがはつきりわかる」とも幸いな時間でした。自分の育った環境を誇りに思えることが、この先の子どものための支えになればと庄手さん。最後には実はこの紙芝居、講談町荒町物語①「なんでも。紙芝居の続きをいつか、今の子どもたちが作ってくれたら嬉しいです」と秘かな夢を聞かせてくれました。

(取材記事 玉川)



▲発案者の庄手さんと制作した紙芝居
▲ビアークプールの回文団扇コーナー

あらまち 温故知新 その2

荒町は相撲のまち

子どもも相撲の復活

藩政時代、相撲行は庶民の娯楽の一つでした。仙台藩・江戸期を通じての機織りを含む数々の有力力士を輩出するなど、全国屈指の「相撲藩」としてその名を馳せました。

相撲行は寺社の祭礼期に合わせて行われていたが、中でも荒町の毘沙門堂は最も多くの相撲行が行われ、まさに相撲の中心地でした。初日には告知のために中を回る「輪れ太鼓」を地元の人が積極的に担ったりと、相撲人気は相当だったようです。江戸本場所で63連勝という素晴らしい記録を残した大相撲史上屈指の強豪、谷風規之助(1750年~1795年、宮城郡霞目村(現・若林区霞目))出身も、毘沙門堂で相撲を取った記録が残っています。

相撲は子どもたちにも人気の遊びでもあり、昭和になっても学校や空き地では相撲がよく行われていました。毘沙門堂でも昭和中期まではこども相撲が行われ、「三山部屋」の初代貢/花も訪れたそうです。

子どもたちに地域の伝統である相撲を体験してもらおうと、2014年、荒町では地域の人がたがこども相撲の復活に向けて動き出しました。同年10月に荒町市民センターでこども相撲大会が開催され、2017年からは毎年の恒例行事として、こども相撲「荒町場所」が開催されています。しこ名を背負った子どもたちが参加し、実践や解説、入り太鼓や跳ね太鼓、ちゃんこ鍋のおふるまいもあるという本格的なイベントで、地域の人も応援隊として運営をサポートしています。

現在の荒町で相撲の歴史を感じられる場所は少ないのですが、毘沙門堂では気仙沼出身の江戸時代の人気力士、秀/山雪五郎(第4代機織)の供養碑や、仙台大町出身の行司、6代目式守伊之助の碑をみることもできます。

(取材記事 馬場/笠間)

参考: Wikipedia、蔵本 太郎(18世紀後半の江戸と仙台における相撲文化の相対作用に関する一考察(2013))



▲昭和時代のこども相撲。昭和35年頃の県大会での一コマ。(リビング金剛 菅野昭雄さん提供)
▲こども相撲 荒町場所(荒町市民センター提供)
*2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催は見送られました。

あらまち 温故知新 その2

荒町さんば

「荒町さんば」は、荒町の魅力を発信し荒町のファンを作ることを目的とした市民団体「荒町エリア発信隊」が制作しています。

メンバーは、会社員、主婦、学生など様々、市内各地から集まり、フリーペーパー発行の他、商店街の動画制作などの活動をボランティアで行っています。

荒町さんば編集チーム

阿部 哲也 玉川 亜枝子 名取 菜央 中島 千恵 馬場 友紀 吉田 由香 澤里 友紀 立間 順子

編集後記

荒町の好きなど、この小さなエリアに楽しみがゴロゴロと。お昼の楽しみラーメンに、ちびちび食べるオヤツの味噌ばん、仕事帰りにアジア料理で一杯、週末は季節のフルーツケーキをチェック、月イチ産品の金魚もみほくし〜。この楽しみを倍の倍にするのが「店主さんとのちよとと会談」。人知れないこだわりや人生観まで！盛り出すのも楽しみなのよ。

取材にご協力頂いた皆様、ありがとうございます!

荒町さんば 2021 新春(令和2年度若林区まちづくり活動助成事業)
発行・編集: 荒町エリア発信隊 表紙のイラスト: 美顔絵師 ことろ / 地図のイラスト: 名取菜央
ご協力: 荒町商店街振興組合、あらまち大好きクラブ、アドバイザー: 谷津智里 / デザイン: 鈴木若子
荒町商店街の皆様

*本号は2020年11月の取材時点の情報で元々作成しています。イベントは新型コロナウイルス感染拡大の状況によって中止になる場合があります。
事務局: 仙台市若林区東七番丁1-15 Hostel KIKO 内
e-mail: aramachisanpo@gmail.com
Facebook ページ: <http://www.facebook.com/aramachisanpo/>

YouTube チャンネル: 荒町エリア発信隊 / 検索



編集チームおすすめ! まちあるきコース

「どこに行けばいいの!？」とお迷いの方へ、色々な楽しみが詰まったまちあるきコースを作りました! さあ、荒町さんぽにレッグー!

【ツルツルさんぽ】

オススメコース 1
荒町ラーメン つるつる散歩

ラーメン屋がたつぎある荒町。1日ラーメンを食べ歩くとしたら? という、ラーメン好きのための3食ラーメンコースです。

自家製麺 こいけ屋 → 横浜家系ラーメン 一翔 → 満福寺 毘沙門天 → らーめん屋 せんごく

1 自家製麺 こいけ屋

朝11時、並んでも食べたい中華そばは、塩か醤油が選べます。中太麺はしっかりとした弾力が魅力。柔らかなチャーシューはとっても上品なお味。

2 横浜家系ラーメン 一翔

14時、昼下がり。一番人気の味玉ラーメンは、奥みのない濃厚な豚骨しょうゆスープがたまらない! スープは水にもこだわっているそう。

3 満福寺 毘沙門天

おなかいっぱい! ちょっとお散歩していたら、ここは満福寺毘沙門天。てくてく境内を歩いてお参りしたら、また少しおなかが減ってきたみたい... 次はどこへ行くかな。

4 らーめん屋 せんごく

更けゆく夜にラーメン一杯、お得な晩酌セットはラーメンとおまかせ二品付き。旨塩ラーメンと中華そばから選べます。旨塩ラーメンはたっぷりの海苔が磯の風味。

こころもおなかもいっぱいになるラーメン散歩。ごちそうさまでした!(吉田)

【ザ・ニッポンさんぽ】

オススメコース 2
ザ・ニッポン 探索コース

職人技に触れ、寛町界隈の職人街を満喫! 人情味あふれる日本の良さ再発見! 大人も子どもも楽しめる時間へようこそ。

仙台筆筒伝承館 門間屋 → 嘉藤金物店 → 仙台筆製造元 竿政 → 美容室 tokito hair

1 門間屋 七代目 門間 一孝さん

仙台筆筒伝承館 門間屋 TEL:022-222-7083(完全予約制)

創業148年の老舗、伝承館&ショールームでは、七代目の案内で、仙台筆筒の歴史や製造工程等を知り、展示品の素敵な筆筒やコースに合わせたモダンな家具に魅了されます。

2 嘉藤金物店

お店をのぞくとまずはビックリ! 鍵・鎖・DIY用品、何でもそろそろ町のホームセンター! 優しい接客にはほっこりしながら、掘り出し物が見つかるかも!

3 仙台筆製造元 竿政

店主夫妻が着物業とお出迎え! 着物文化推奨! 店主がデザインしたお洒落な店内は、和モダンで驚きのアイデア満載で感動! 店内見学OKなので、気軽に立ち寄って!

4 美容室 tokito hair

店主夫妻が着物業とお出迎え! 着物文化推奨! 店主がデザインしたお洒落な店内は、和モダンで驚きのアイデア満載で感動! 店内見学OKなので、気軽に立ち寄って!

店主の皆さんの人柄に引き込まれ、時間を忘れるほど、夢中満足度100%! (中島)

【セカイをさんぽ】

オススメコース 3
荒町で 世界一周!

荒町には、色々な国の料理や文化を楽しむお店がたくさん! まるで世界一周したかのような気分が味わえます。

カオソイ食堂 → 中国物産店 → ニネル ショッピングストア → クイジヌ・スガワラ → ビンネリア ブエノス

1 カオソイ食堂 (タイ料理)

ランチはイチオシの「カオソイ」、カレーベースにココナツミルクがマッチしたスープと、パリパリとつるつる食感の2種類の麺が個性抜群!

2 中国物産店

アジア各国の食料品がずらり! まるで現地でお土産を買った気分! 今回はレーズンのお菓子、5色のえびせん、韓国インスタント麺をチョイス。

3 ニネル ショッピングストア

仙台筆筒人御用達、ネパール、インドの調味料、食材を販売。お店手作りのネパールの餃子も人気です。

4 吹風堂 味噌醤油店

カシメの香りで、ネパール、インドの調味料、食材を販売。お店手作りのネパールの餃子も人気です。

5 PIZZERIA BUENOS

最後に焼ききたてのピザをテイクアウト。耳までおいしい本場イタリアの味! 手作りならではの味が感じられ、お料理にもおススメ!

プチ世界旅行気分が味わえる荒町で、皆さんぜひ旅してみてください!(名取)

【スッキリさんぽ】

オススメコース 4
癒しの全身 スッキリコース

溜まった疲れを、確かな技術とあたたかい笑顔で癒したい方に。寛町を歩き回って、心身ともに健康になりましょう!

美容室 B-Ark pool → なごみ整骨院 → 佐藤趣味噌醤油店 → フットサロン 踏

1 美容室 B-Ark pool TEL:022-267-1669(要予約)

髪以外の相談もB-Ark poolさんにお任せ! 「肩リンパエステ (税込 2,200円)」は、肩こりはもちろん、むくみも改善できます!

2 なごみ整骨院 TEL:022-398-9288(要予約)

願わりの集中ケアならこちら。「荒町さんぽを見ました!」でスペシャルプラン(小顔施術(40分、税込4,080円))が受けられます。目指せ小顔美人!

3 佐藤趣味噌醤油店

お土産には話題の体面ケア・菌活アイテムをセレクト。米と麹のみで作られた冬季限定販売の甘酒は、やさしい甘さとしっとりとしたコクが感じられ、お料理にもおススメ!

4 フットサロン 踏 (とう) TEL:022-399-8805(要予約)

最後はしっかりいたした足を労りに、施術が終わると不思議と全身スッキリ! 初めての方は足診断付きのワンコインプランが利用できます。

荒町を歩けば、頭の先から足先まで、全身のトータルケアができますよ!(澤里)